

第 28 回（令和 5 年度第 2 回）公立大学法人 公立小松大学 経営審議会 議事概要

1 日 時 令和 5 年 9 月 27 日（水）13 時 24 分～15 時 29 分

2 場 所 中央キャンパス 2 階 会議室

3 出席者

石田委員長（理事長）、山本副委員長（学長）、横川委員（副学長）、西委員、
鈴木委員、千葉委員（事務局長）、越田委員

監 事

能登監事

欠席者

山崎委員、東野委員、保川委員、松本監事

4 議 事

(1) 前回、議事概要の確認

石田委員長より前回の議事概要について説明があり、原案どおり承認された。

(2) 審議事項

① 令和 6 年度予算編成方針について

千葉委員及び事務局吉田財務課長より、資料 2 に基づき令和 6 年度予算編成方針について説明があった。これに対して越田委員及び鈴木委員より、第 1 期中期計画の数値目標との比較について質問があり、事務局吉田財務課長及び事務局中野総務課長より、昨年度の実績を中心に説明があった。また、鈴木委員より、SDGs の具体例について質問があり、事務局中野総務課長より、第 2 期中期計画では DX 等デジタル化を取り入れた業務改善を目標に掲げており、会議等でもペーパーレス化を推奨していくと回答があった。審議の結果、原案どおり承認された。

② 学則の改正について

横川委員より、資料 3 に基づき学則の改正について説明があった。鈴木委員より、資料の一部訂正箇所の指摘があったため、修正することとなった。審議の結果、資料を修正することで承認された。

③ 大学院サステイナブルシステム科学研究科の修学支援に関する運用方針について

山本副委員長より、資料 4 に基づき大学院サステイナブルシステム科学研究科の修学支援に関する運用方針について説明があり、審議の結果、原案どおり承認され

た。

(3) 報告事項

① 令和4年度業務実績評価について

山本副委員長及び千葉委員より、資料5に基づき令和4年度業務実績評価について報告があった。これに対して鈴木委員より、中国語に関する数値目標も設定すべきと意見があり、千葉委員より、第2期中期計画では中国語も含めた外国語のグローバルスタンダードな指標を設定する予定であると回答があった。また、目標が達成しているにもかかわらず財務の評価が低いことについても質問があり、千葉委員より、国立大学と比較して寄附金額が少ないため、このような評価となったと説明があった。

② 大学院博士後期課程設置認可について

千葉委員より、資料6に基づき大学院博士後期課程設置認可について報告があった。

③ 第2期中期目標・中期計画素案について

山本副委員長より、資料7に基づき第2期中期目標・中期計画素案について報告があった。これに対して越田委員より、国家試験の合格率目標が第1期の95%から5%下がった点について質問があった。続いて、鈴木委員より、第1期では目標をはるかに上回る実績があるので、目標設定を現状の業績よりも上回る数値に設定すべきと意見があった。また、西委員より、目先の環境変化にも対応した目標をすべきと意見があった。山本副委員長より、今回の意見とともにパブリックコメントによる市民からの意見及び学内の意見を整理したうえで、小松市公立大学法人評価委員会や教育研究審議会、経営審議会、理事会の議を経て、策定を進めていくと回答があった。

石田委員長より、11月上旬に経営審議会を開催し、第2期中期目標に対するパブリックコメントの結果を共有し、小松市議会において中期目標を諮り、議決後に第2期中期計画を定めると説明があった。

④ 就職内定状況について

千葉委員より、資料8に基づき就職内定状況について報告があった。

その他

山本副委員長より、10月14日に開催されるシーズ・ニーズマッチングシンポジウムの説明があった。

以上